

科目名	感染看護学特論Ⅱ Nursing Care and Infection Control Ⅱ		科目区分	専門	単位数	2単位
教員名	佐藤ゆか, 長崎由紀子, 青山恵美, 高村祥子, 小松孝行, 乾匡範, 内記良一, 神戸俊夫, 角坂照貴		必修・選択	選択	開講年次	第1学年
					開講学期	前学期
科目概要	感染防止の看護活動は、病原性をもつ微生物と感染症の特徴及び生体の防御機構をふまえて展開される。本科目では、微生物と人との関わり、環境中の微生物の役割に対する基本的な理解を深め、特に人に対して病原性をもつ微生物及び医療関連感染で問題となる微生物の特徴と感染症について学ぶ。さらに、感染に関する生体の防御機構及び感染の成立機序について理解を深め、対象の看護ケアや感染防止の看護活動に活用するための基本的な知識を養う。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 微生物の種類と生物学的特徴について説明できる。 2 感染に関する生体の防御機構について説明できる。 3 感染の成立機序について説明できる。 4 環境中の微生物、人と微生物の関わりをふまえ、主な病原微生物及び医療関連感染で問題となる微生物の特徴と引き起こされる感染症の特徴を説明できる。 5 上記1～4の基礎的知識の看護活動への活用について討論できる。 					
内 容	1	微生物学概論	微生物の基礎、環境と微生物、人と微生物の関わり			内記良一
	2		微生物の形態と機能、微生物の遺伝学			
	3	免疫概説①	免疫系、人の感染防御機構			高村祥子
	4		自然免疫・獲得免疫の機序			
	5	免疫概説②	免疫不全と易感染性、アレルギー			乾 匡 範
	6	感染成立の機序	宿主と微生物の相互関係、感染成立の要因と機序			佐藤ゆか
	7	細菌概説	主な病原細菌と細菌感染症			内記良一
	8		主な耐性菌と耐性獲得のメカニズム			
	9	真菌概説	主な病原真菌と真菌感染症			神戸俊夫
	10	原虫・寄生虫概説	主な原虫と原虫感染症、主な寄生虫と感染症			角坂照貴
	11	ウイルス概説	主な病原ウイルスの特徴			小松孝行
	12		主なウイルス感染症			
	13	微生物の取扱いの基礎	感染症法に基づく取扱い、バイオセーフティ			長崎由紀子
	14	医療関連感染で問題となる微生物	医療関連感染で問題となる主要な微生物の疫学、生物学的特徴、伝播様式、看護活動（課題発表と全体討議）			佐藤ゆか 長崎由紀子 青山恵美
	15					
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み、積極的に授業に臨むこと。 2 授業では、学生のプレゼンテーションを取り入れ、討議を通して学びを深めていく。 3 1コマあたり、90分以上の事前・事後学修が必要になる。 4 プレゼンテーション及びレポートの内容について、適宜、フィードバックを行う。 					
評価方法	授業への参加状況(40%)、レポート(60%)により、総合的に評価する。					
教科書・参考書	教科書：指定しない。 参考書： <ol style="list-style-type: none"> 1 藤本秀士編：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」、南山堂、改訂3版(2017/3)、3,080円(税込) 2 医療情報科学研究所編：「病気が見える vol.6 免疫・膠原病・感染症」、メディックメディア、第2版(2018/9)、3,850円(税込) 3 河本宏著：「もっとよくわかる！免疫学」、羊土社(2011/2)、4,620円(税込) 					
履修上の注意点	3分の2以上の出席を満たしている場合、評価対象とする。					
オフィスアワー	佐藤ゆか : 木曜日 16:20~17:50 看護学部棟4階 N453 研究室 長崎由紀子: 木曜日 16:20~17:50 基礎科学棟3階 N363 研究室 青山恵美 : 木曜日 16:20~17:50 基礎科学棟3階 N375 研究室 ※ 兼担・非常勤講師については別紙にて配布する。					